

平成 30 年度 第 2 回長和町公共交通審議会が 12 月 20 日（木）に開催されました。

(1) JR バス関東との経過について

ダイヤや経路の工夫により、高齢者等が利用しやすい住民ニーズにあった公共交通を JR より次回審議会時に提案いただく。

(2) 近隣市町村のデマンド交通視察状況について

・東御市（とうみレッツ号）

朝夕は定時契約バス、昼間（月～土）はデマンド交通 8 往復（運賃 300 円/回）

・上田市武石地域（武石スマイル号）

朝夕は路線千曲バス、昼間（月～金）はデマンド交通 病院 5 往復・丸子 5 往復・大屋駅 2 往復（運賃 300 円・600 円/回）

・佐久穂町（げんでる号）

スクールバス運行、昼間（月～金）はデマンド交通 7 往復 町の車
（運賃 300 円/回）

・佐久市

巡回バス、廃止代替バスのほか、予約制乗合タクシー（予約し公民館等の指定
場所で乗車）（運賃 200 円・400 円/回）

委員 どの市町もデマンド交通の利用者数が減っているようだが、対策はおこなっているのか。

事務局 アンケートや意見交換を行い利便性を良くしているようだが、人口の減少もあると思う。

委員 武石地域と組んで経費節減はできないか。

事務局 デマンド交通は、それぞれの地域で予約システム導入やオペレータが必要となるため、経費節減は難しいと思う。

上田地域全域でバスなどを含め、すべての公共交通に取組めれば良い
と思う。

委員 デマンド交通の車両は 1 台いくら位するのか。

事務局 1 台 300～350 万円位

副町長 当初は予約システム導入に 2,000 万円位必要だと予定していたが、
現在は 600～700 万円/5 年とのこと。視察した市町には鉄道が通っており
高校通学等を行っている点と別荘地を考慮しなければならない。

委員 地域の特殊性もあり、JR との共存をどうするか。経費面をどう考えるか
など難しい。朝夕は JR バス、昼間はタクシー利用時に補助金を出す方法
もある。

委員 デマンド交通等を導入した場合に、JR バスが運行してくれるかも重要
副町長 上田行きの利用が少ないことから、すべて丸子行きとして本数を増やし、経費を少なくするなどの JR 提案もあると思う。
委員 デマンド交通の終点はどこでもいいのか。
事務局 設定をすれば町外でも可能だが、経費面や自己負担額の検討が必要
会長 JR の提案を受けてから検討したい。

(3) 地区からの要望について

・学者村地区

公共交通に関する住民アンケート実施

現在は運転ができて、近い将来には深刻な状況となる。

特に冬季はタクシーも来てくれない。

便数が少ない、必要な時間帯に無い、停留所が遠い

学者村季節バスの通年運行

学者村 2 期内の運行

・姫木地区

観光客や別荘客が利用できるよう 白樺湖～姫木平の午前 1 便、午後 1 便運行

・中山道 歩いて和田峠越えのための利用

10 時代の「ふれあいの湯」行きを「男女倉」まで延長

16 時代の「上和田～長久保」を土日祝日も運行

委員 要望は JR に伝えてあるか。

事務局 JR に伝え見積もりを依頼した。

委員 白樺湖～姫木平間は利用者が少なく廃止となったと思うが、利用者はどのくらいを予想しているか。

事務局 夏休中の休日以外等は、そんなに多くの利用は無いと思う。

委員 姫木地区からの要望だが、実際何件が要望しているか。

副町長 姫木自治会で区民にアンケートをとった中で要望はかなりあったとのこと。要望書の提出があった。お客さんの送迎は行っているが、本来の公共交通があると便利になる。また、公共交通が無いために茅野・白樺湖からの観光客や別荘客がきづらい状況。

委員 和田峠を歩くためのバスを増便してメリットがあるか。

事務局 県外の方からもらった意見で、中山道を歩く人はたくさんいるので、交通の不便さを解消すれば、観光客が増えるとの提案をもらった。

委員 観光問題なら公共交通と離して、観光・別荘で考えても良いと思う。
会長 JRバスからの提案に含めて検討していきたい。
次回の審議会に JR バスに来てもらい提案を受け、直接質問などを行
いたい。